

# 台風 8 号 (Morakot) による台湾高雄県小林村甲仙郷の崩壊について

2009 年 8 月 19 日

京都大学防災研究所 地盤災害研究部門

千木良雅弘, ツォウ・チンイン

台湾の高雄県小林村甲仙郷では、台風 8 号 (台風莫拉克 Morakot) によって 9 日早朝に土石流が発生し、約 400 人が生き埋めになったとの報道がなされている。それについて、発生前後の地形映像を入手することができたので、それについて解析した。その結果、この土石流は、河川の堆積物が土石流化したのではなく、小林村の背後、しかもかなり奥の山腹斜面が崩壊し、崩壊土砂が岩屑流となって小林村を襲ったと推定された。



台湾の高雄県小林村で 8 月 9 日に発生した土石流の映像が入手できた。それと Google earth で見た発生前の地形とを比較してみた。左は、台湾の逢甲大学による空撮映像である。最上部に崩壊源があり、その下方が岩屑流となって小林村を覆い、さらに対岸と下流に流れ広がっている様子が見える。右の発生前の画像と比較すると、小林村の裏山自体は崩れておらず、土砂はもっと上方からきていることがわかる。おそらく矢印で示したところが崩壊した個所である。

